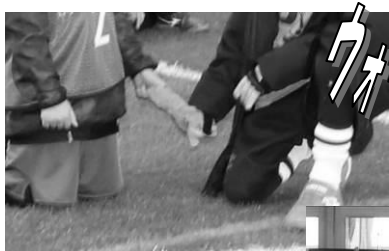


2022 サッカーキッズ大集合スペシャルトレーニング冬 報告

2023. 2. 7 (一社)札幌地区サッカー協会 キッズ委員会

(一社)札幌地区サッカー協会キッズ委員会の今年度最後の事業、「サッカーキッズ大集合スペシャルトレーニング冬」を、1月28日(土)に開催しました。「スペシャルトレーニング」は、サッカー経験があること、技術・体力的に自信があることを参加の条件とし、スキルアップや体力向上を目的とした事業です。今回は、38名(1年生:12名、2年生:26名)のU-8のサッカーキッズの参加がありました。8名のスタッフと一緒に、テーマをもっていろいろな形式のゲームに取り組んでもらいました。外は、氷点下の気温で厳しい寒さでしたが、競技場の中は、参加してくれたサッカーキッズの熱気があふれていました。



ゲーム

まずは、体を温めるため、そして今日のテーマの一つでもある「コミュニケーション」を積極的にとってもらうために手つなぎ鬼からスタートです。百円ショップで売っている「ヘアダーバン」でつながることで、一人一人が手をつなぐより大きく自由に動くことができるため、コミュニケーションをとることが必要だったようです。

コーチの動きを真似してのストレッチは、できるだけゆっくり動くことを意識して行いました。子どもたちにとって、ゆっくりと動くことは簡単ではないので、体を思ったように動かすための調整力が求められます。



今回は、「コミュニケーション」「周りを見る」「状況に合わせて動く」ことをテーマに4種類のゲームに取り組んでもらいました。

①は、一つのコートで3組の1VS1を行いました。ごちゃごちゃした中でも周りを見ながら、しっかりとプレイできることが大切です。

②は、ボール3つを使っの3VS3です。ゴールが決まったボールはプレイできません。最初は、1VS1が3組できますが、ゴールが決まるたびに、2VS1や2VS2、最後は、3VS3と状況が変化するので、それぞれの状況に合わせたプレイが求められます。

③は、鬼ごっこで使った「ヘアダーバン」を使っの手つなぎサッカーです。何より、ペアの子とのコミュニケーションが大切になります。動きづらかったようですが、ねらっていた声を出しながらのプレイをする姿が多く見られました。

④は、並んで待っている順に、コーチが指示した人数がピッチに入っのゲームです。1VS1~4VS4まで指示された人数の状況に合わせてゲームをすることが求められます。

子どもにとっては、初めて体験する形式のゲームもあったようですが、楽しく取り組んでくれてようすです。子どもたちには、「チームに帰ってもやってみてね。」と声をかけました。



令和4年度のキッズ委員会の事業はこれで終了です。ご参加いただいたみなさん、ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

次年度は、4種チーム、幼稚園・保育園との連携をさらに深めていく予定でありますので、キッズ委員会がお役に立てることがあれば、(一社)札幌地区サッカー協会事務局までご連絡をお願いいたします。